

産学連携による科学技術人材育成に関する 大学協議体の取組

平成31年 1月28日

大学協議体の概要

【設置の趣旨・目的】

- 理工系人材の質的充実・量的確保に向けて、「理工系人材育成に関する産学官行動計画」（平成28年8月）（以下「行動計画」という。）に掲げられた教育機関の取組について、効果的な実行を検討するため、「産学連携による科学技術人材育成に関する大学協議体」（以下「大学協議体」という。）を設置。
- 教育機関における人材育成に係る課題の抽出、意見・要望の集約及び連絡調整等
- 産学連携による人材育成の取組の推進に向けた教育機関と産業界の対話の実施

<構成員>

- 川田 誠一 産業技術大学院大学学長（公立大学協会）
◎岸本 喜久雄 東京工業大学名誉教授
関 実 千葉大学理事（研究）（国立大学協会）
曄道 佳明 上智大学学長（日本私立大学団体連合会）
古田 貴之 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長
（日本私立大学団体連合会）
笠井 秀明 明石工業高等専門学校長（全国高等専門学校連合会）
※五十音順、敬称略、◎は議長、（ ）内は推薦団体

<関係有識者>

- 井上 克郎 大阪大学大学院情報科学研究科 教授

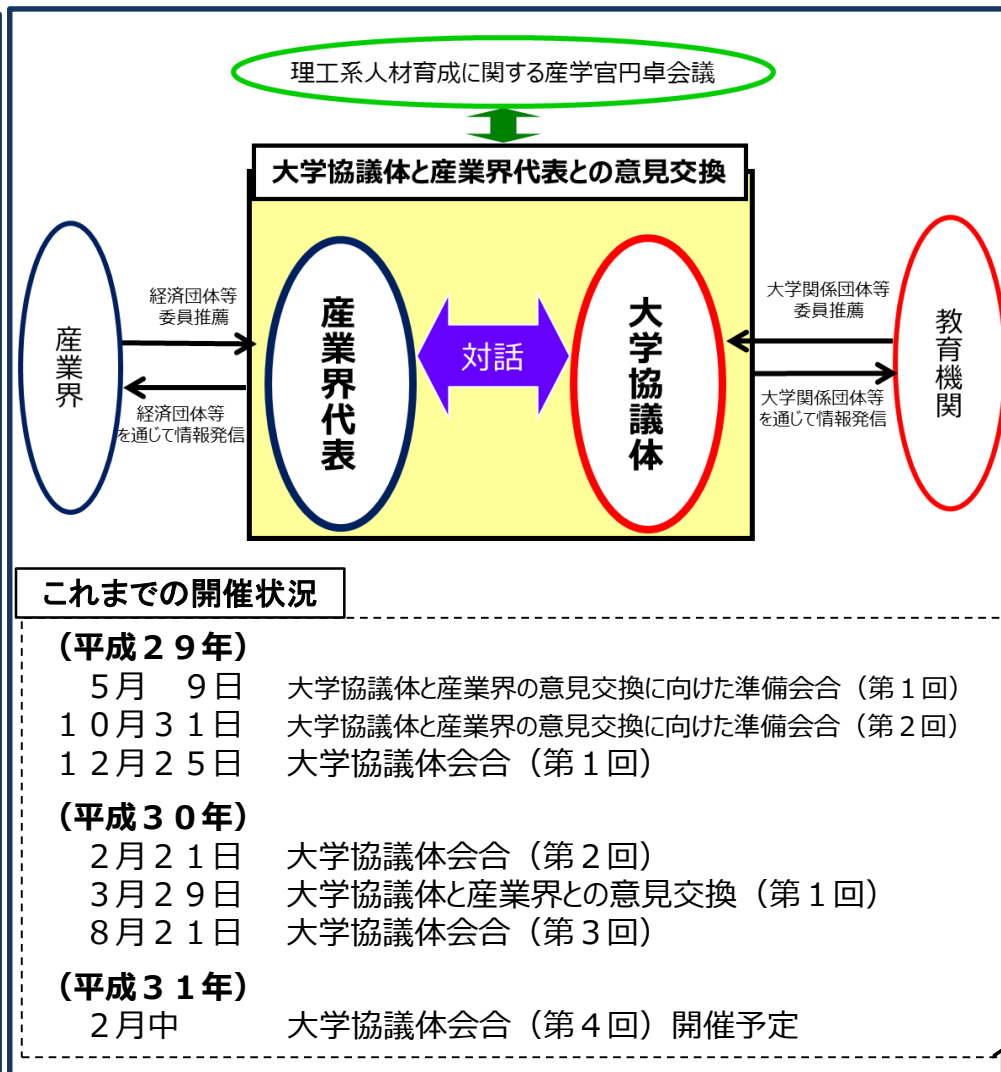
<構成・役割>

行動計画等を踏まえ、以下の事項について検討・協議を実施。

- 行動計画の内容について、大学における取組状況の確認・検証
- 産学連携教育の推進に向け、産業界のニーズを踏まえた人材育成方策の検討
- 産業界と連携した人材育成のための産学連携教育プロジェクトの構築・実施等

<今後の予定>

- 行動計画におけるフォローアップを実施。
- 行動計画に記載のある「産業分野ごとに大学等と産業界との対話」を推進するため、学会等から産学連携の取組についてヒアリングを実施し、積極的取組を広く社会に発信。



情報分野における産業界とのマッチングについて

事業概要

- 平成29年10月31日に開催された「大学協議体と産業界との意見交換に向けた準備会合」（第2回）に向け、文部科学省補助事業「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点（enPiT）」関係大学に対して、**教材データの提供や講師派遣への要望に関する産業界へのニーズ調査を実施。**
- 調査結果を経済団体を通じて産業界側に共有し、**興味関心を持った企業等と大学との橋渡しをする**ことで産業界と大学側のマッチングを図った。

調査項目

1. 産業界に求める教材・データ等

- ① 対象となる授業・演習の概要
- ② 受講学生の学年、受講者数、授業・演習の開講時期
- ③ 求めるデータ、教材の概説

2. 産業界からの講師派遣への要望

- ① 対象となる授業・演習の概要
- ② 受講学生の学年、受講者数、授業・演習の開講時期
- ③ 担当頂きたい講義・演習内容
- ④ 講義・演習のボリューム（1コマ：90分）
- ⑤ 講師に求めるスキル・知識

3. その他、産業界への要望等

具体的な回答例

1. 産業界に求める教材・データ等

- 企業における販売実績、個人の購買履歴などのデータの提供
- サイバー攻撃に遭遇した経験のケーススタディ、各種ログ等の提供
- ソフトウェアの品質データの提供
- 機械学習やデータマイニングのデータセットの提供

2. 産業界からの講師派遣への要望（講義・演習内容）

- 企業活動におけるビッグデータ等の利活用例とその結果（失敗事例を含む）
- ベンチャーの起業について
- 情報システムを設計する場合の方法論、問題点を開発事例を通して紹介
- ソフトウェアの品質データの解析方法やツールの解説について
- ICT分野の技術者やICTを活用したサービスに携わる技術者が、求められる能力や職種等について

結果

- これまでニーズ調査実施後、フォローアップ調査を3回実施。
- 平成30年7月27日時点で**3大学**と企業とのマッチングを図った。具体的な取組は各大学で調整中。

大学協議体と産業界との意見交換 概要

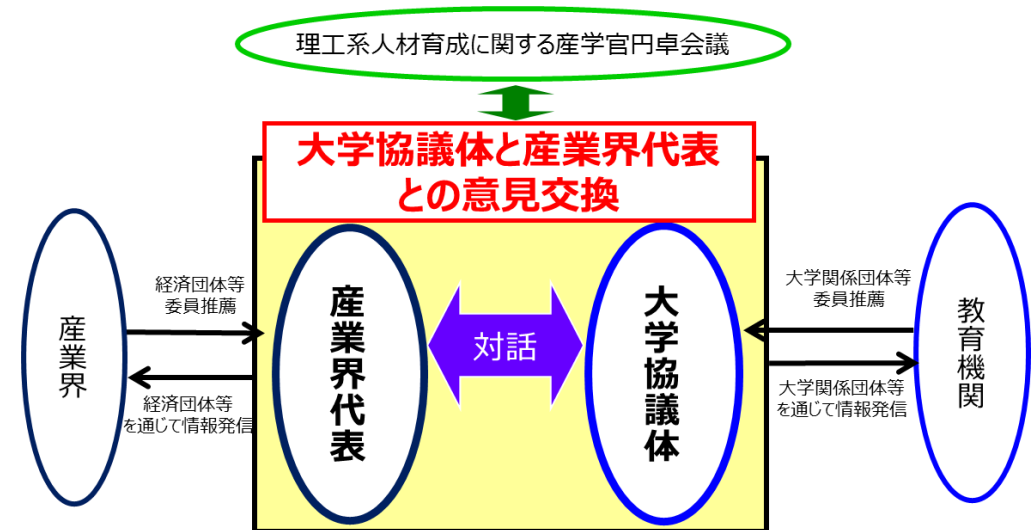
- 「理工系人材育成に関する産学官行動計画」（平成28年8月）に掲げられている「**行動計画に掲げられた教育機関に求められる役割や対応策をより効果的に実行するための具体的な検討を行う**」ため、大学協議体構成員及び関係有識者と産業界の代表者による意見交換の場を設けた。
- 平成30年3月29日に第1回「大学協議体と産業界との意見交換」を開催。

【構成員】

- 大学協議体構成員及び関係有識者
- 産業界（新経済連盟、産業競争力懇談会）
- 関係省庁（文部科学省、経済産業省）

【論点】

- 産業界のニーズと高等教育のマッチング方策
- 産学連携教育の推進
- リカレント教育（技術者の継続教育）の推進



（抜粋）平成28年8月「理工系人材育成に関する産学官行動計画」

<短期的対応（2，3年以内）>

【教育機関】

- 大学関係者による協議体（以下「大学協議体」という。）を大学関係団体等の協力によって設立し、産業界のニーズの実態や将来の産業の在り方も念頭に置いた中長期の人材需給予測を踏まえ、**産業界とも意見交換をしながら、行動計画に掲げられた教育機関に求められる役割や対応策をより効果的に実行するための具体的な検討を行うとともに、各取組の進捗状況を確認・検証し、翌年度の取組に反映させる。**

<中長期的対応>

- 大学協議体において、産業界のニーズの実態や人材需給の動向を踏まえ、関係分野を有する大学が協議し、新たな教育プログラムの創設等の対応に協力して取り組むような機能を担う。

大学協議体における今後の予定

大学協議体での意見等

学協会には、産業界や大学の双方の人で構成されており、その中で様々な産学連携の仕組みを考えている。
学協会の話を聞いて、大学協議体として参考にするのもよいのではないかな。

理数系人材のニーズが産業界から高まっているが、数学を学ぶ学生が、自分たちが産業界でどう活躍するかを認識していないのではないかな。

「行動計画」に記載された教育機関・産業界・政府に求められている取組を着実に実施する（大学協議体の設置の趣旨より）

行動計画に掲げられた教育機関に求められる役割や対応策をより効果的に実行するため、産業界との意見交換をしながら具体的な検討を行う（行動計画より）

今後の対応

行動計画に記載のある、産業分野ごとの産学対話の場の設定について検討するため、理工系の学協会での産学連携による人材育成の取組状況についてのアンケートを実施

→アンケートの結果、積極的に人材育成に関する産学連携の推進に取り組んでいる旨の回答があった学協会にヒアリングを実施

理数系人材の産業界での活躍に向けた意見交換会を実施
（経済産業省・文部科学省にて実施）

「行動計画」のフォローアップ調査（平成30年12月末時点）を実施

産業界との意見交換に向けた提案・要望事項の整理の上、次回の「大学協議体と産業界との意見交換」にて協議予定

